

教科	農業	科目	畜産	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	畜産専攻
使用教科書	畜産(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・農業鑑定競技</li> <li>・小テスト</li> <li>・実習技能の習得</li> <li>・実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実習状況の観察</li> <li>・実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・実習・授業の様子</li> <li>・実習記録簿の内容</li> <li>・農業作文</li> </ul>

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。</li> <li>・実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。</li> <li>・また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。</li> <li>・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。</li> </ul>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
	4   7	第4章 家畜の飼育 4 肉牛の飼育 ①肉牛の特性 ②肉牛の品種と選び方 ③肉牛の施設・設備とその利用 ④肉牛の繁殖と育成 ⑤肉牛の肥育 ⑥肉牛の病気と予防衛生 ⑦生産物の流通と販売 ⑧肉牛飼育の経営 ⑨肉牛の実習・実験・観察 ・総合実習(放課後含む)と連携し、肉牛の飼養管理～繁殖管理を実践的に体験し理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉牛の特性、主な品種と選び方について理解できているか。(知)</li> <li>・肉牛の施設・設備についてその使用方法も含めて理解でき、得た知識を実習において活かすことができているか。(知・思)</li> <li>・肉牛の繁殖について理解でき、得た知識を繁殖管理に実践することができているか。(知・思)</li> <li>・肉牛の肥育管理について理解でき、得た知識を肥育管理に実践することができているか。(知・思)</li> <li>・肉牛の病気と予防衛生について理解でき、管理実習で活かすことができているか。(知・思)</li> <li>・授業で得た知識を活用し、総合実習における管理実習に積極的に取り組むことができているか。(思・態)</li> </ul>
2	9   10	第1章 日本の畜産の特徴と役割 4 科学の発展と畜産への応用 ①家畜育種分野の成果と役割 ②生殖分野における発展と人間への応用 ③畜産物の第3次機能 ④人間と動物の関係分野の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の発展と家畜育種の関わりについて理解することができたか。(知)</li> <li>・生殖分野における科学技術の発展を理解し、動物と人間との関わりについて考えを深めることができたか。(知・思)</li> </ul>
	11   12	第2章 動物の生理・生態と飼育環境 2 飼育環境の調節 ①熱環境と家畜 ②その他の環境と家畜 ③アニマルウェルフェアに配慮した飼育管理 ④環境に配慮した畜産 3 家畜排せつ物の処理と利用 ①家畜排せつ物の処理 ②家畜排せつ物の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の飼育環境の調節について理解できたか。(知)</li> <li>・学習した知識を活用し、アニマルウェルフェアと環境に配慮した飼育管理を実践することができているか。(知・思)</li> <li>・家畜排せつ物の処理と利用について理解し、実習において実践することができているか。(知・思)</li> </ul>
3	1   2	第5章 畜産と経営 1 畜産経営の基礎 ①畜産経営の収益構造 ②価格の変動と畜産経営 ③技術成績と収益との関係 ④畜産経営をとりまく国際環境 ⑤畜産経営の現状 2 畜産経営の改善 ①技術目標と経営計画 ②経営管理と経営支援システム ③フードシステムと流通販売の工夫 ④食品の安全性とトレーサビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産経営の基礎について理解できたか。(知)</li> <li>・畜産経営をとりまく国際環境変化の影響について理解できたか。(知)</li> <li>・学習した内容を活用し、畜産経営の改善について考察することができたか。(知・思)</li> <li>・食品の安全性を確保するためのトレーサビリティの仕組みについて理解できたか。(知)</li> </ul>